



国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

DATA BOOK

2019-2020

- 1 沿革
- 2 学部・大学院
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 図書館
- 13 財政状況
- 14 役員・教職員数
- 15 キャンパス面積
アクセス

名古屋工業大学憲章

基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

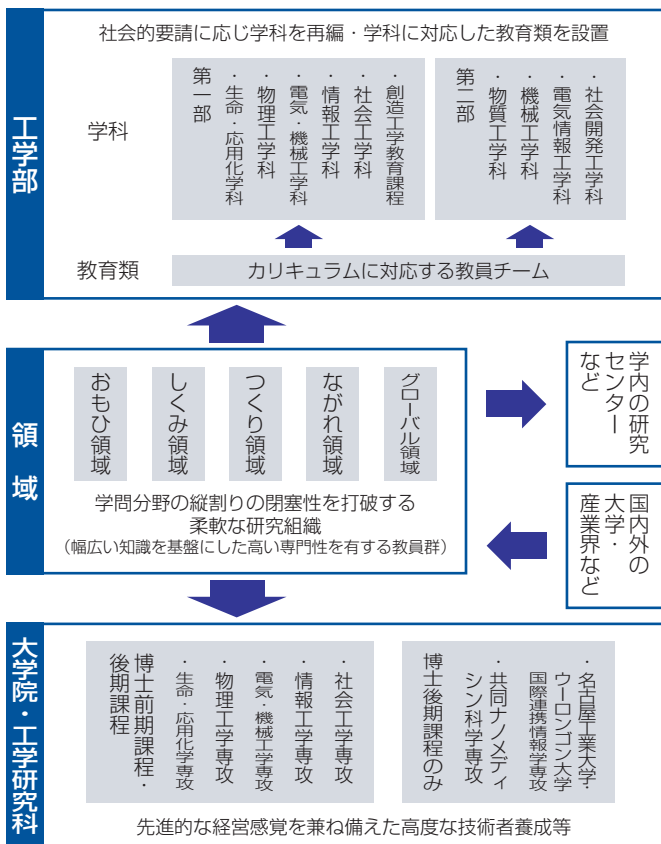
平成24年1月1日制定

教員組織

教員組織として「領域」を設置

学問分野による縦割りの教育研究組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な研究系組織として「領域」を置いています。おもひ、しくみ、つくり、ながれという四つの領域に加えて、平成28年度には、グローバル教育研究改革・機能強化を一層推進するために、雇用する海外有力大学からの教育研究ユニットの研究者や学長のリーダーシップにより本学の研究力強化を目的として採用する教員を配属するグローバル領域を設置しました。

各教員は、いずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトが起ち上がることを期待するものです。



(注) 博士前期課程は2020年4月に上記の5専攻を廃止して、工学専攻を開設します。

1

沿革

明治38年創立の伝統の上に新たな風を

明治38年3月28日 創設
名古屋高等工業学校

昭和18年2月16日 創設
愛知県立高等工業学校

昭和19年4月1日 改称
名古屋工業専門学校

昭和19年6月1日 改称
愛知県立工業専門学校

昭和24年5月31日
名古屋工業大学

平成16年4月1日
国立大学法人 名古屋工業大学

■名古屋工業大学は、明治38年創設の名古屋高等工業学校と、昭和18年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、昭和24年に新制大学として発足しました。

■平成16年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

2

学部・大学院

第一部5学科、1課程、第二部4学科、大学院7専攻の工学系の単科大学

工学部第一部

5学科、1課程

生命・応用化学科
物理工学科
電気・機械工学科
情報工学科
社会工学科
創造工学教育課程

工学部第二部

4学科

物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

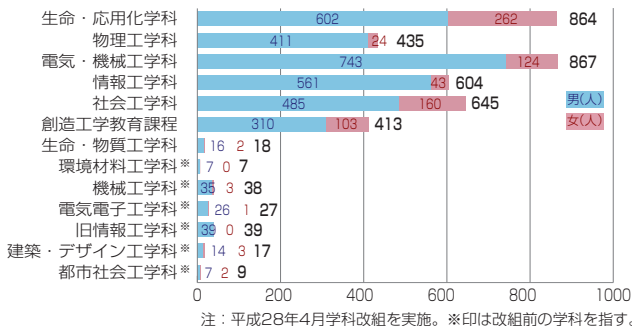
大学院工学研究科

7専攻

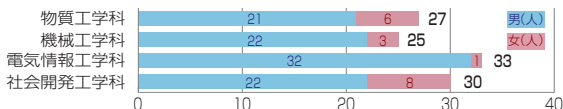
生命・応用化学専攻
物理工学専攻
電気・機械工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻
(博士後期課程)
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学
国際連携情報学専攻
(博士後期課程)

5,788人が在学中 そのうち約17%が女子

◆工学部(第一部) 計3,983人

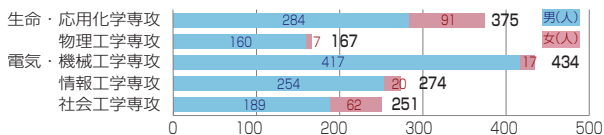


◆工学部(第二部) 計115人

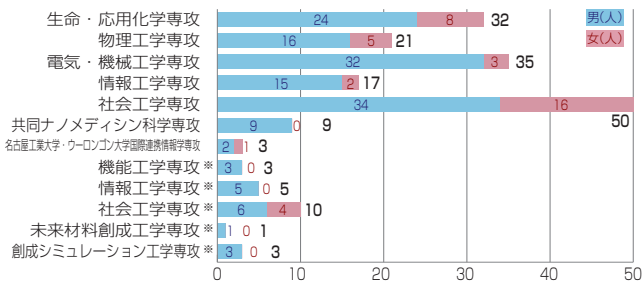


◆大学院工学研究科 計1,690人

博士前期課程 計1,501人



博士後期課程 計189人

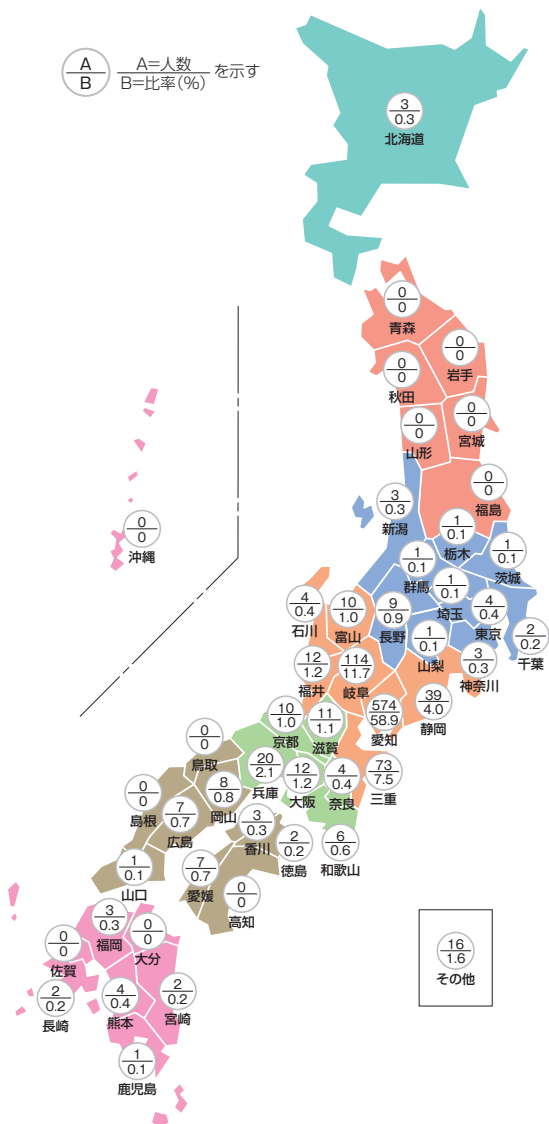


4

入学者出身高校所在地

■ 東海・北陸地区を中心に全国から学生が集まっています。

■ 2019年（令和元年）度入学者の場合、東海3県の出身割合は、第一部が78.1%、第二部が79.2%です。愛知県出身割合は、第一部が58.6%、第二部が70.8%です。



5

入学状況

■2019年（令和元年）度志願倍率は、第一部前期日程3.3倍、第一部後期日程7.4倍、第二部5.7倍、大学院博士前期課程1.6倍、大学院博士後期課程1.4倍となっています。

区 分	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
工学部 (第一部)	推薦	116	335 (154)	120 (42)	120 (42)
	AO 入試	3	8 (4)	2 (2)	2 (2)
	前期日程	490	1,620 (264)	512 (88)	506 (88)
	後期日程	301	2,220 (316)	371 (59)	309 (49)
	私費外国人 留学生特別入試	若干名	163 (48)	31 (11)	6 (2)
	国費・政費	若干名	5 (1)	5 (1)	5 (1)
	日韓	若干名	2 (0)	2 (0)	2 (0)
工学部 (第二部)	20	113 (21)	25 (7)	24 (7)	
大学院工学研究科 (博士前期課程)	586	945 (130)	803 (104)	742 (97)	
大学院工学研究科 (博士後期課程)	42	60 (8)	58 (8)	57 (8)	
合 計	1,558	5,471 (946)	1,929 (322)	1,773 (296)	

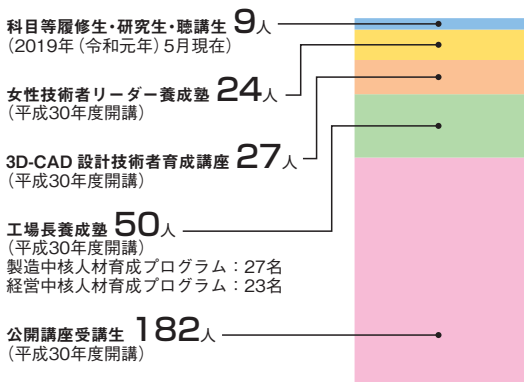
注：() は、女子数を内数で示す。

6

生涯学習

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数



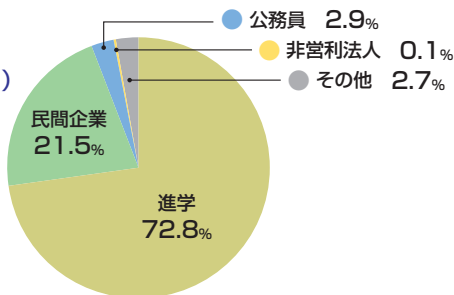
■博士前期課程、博士後期課程にも計141人の社会人が在籍しています。

7 卒業後の進路

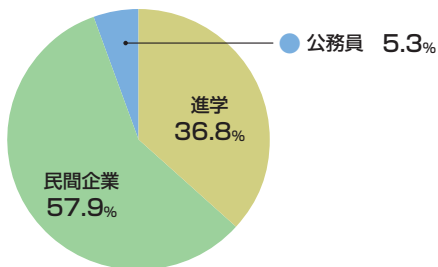
学部卒業者の72.1%が大学院へ

学部・大学院別進路状況（平成30年度卒業・修了者）

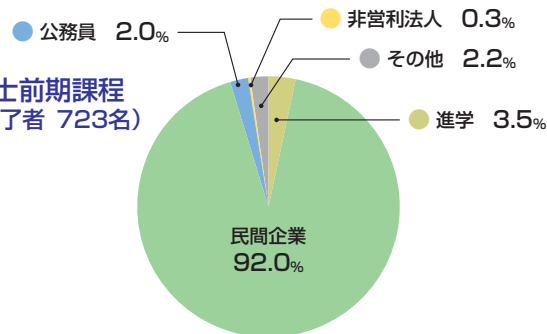
◆第一部 （卒業者 926名）



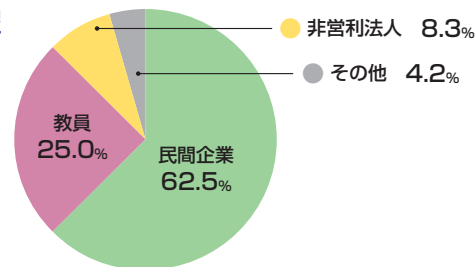
◆第二部 （卒業者 19名）



◆博士前期課程 （修了者 723名）



◆博士後期課程 （修了者 24名）



◆主な就職先

区分	学部（一部・二部）				大学院博士課程（前期・後期）							
産業界	トヨタ自動車	7名	愛三工業	2名	デンソー	47名	ヤマハ発動機	8名	FUJI	5名	ヤマザキマザック	4名
	トヨタ車体	5名	青山製作所	2名	トヨタ自動車	18名	リンナイ	8名	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	4名	LIXIL	4名
	積水ハウス	4名	AZAPA	2名	アイシン精機	17名	アイシン・エイ・ダブリュ	7名	NTN	4名	アイカ工業	3名
	竹中工務店	4名	エヌ・ティ・ティ・データ東海	2名	豊田自動織機	17名	アドヴィックス	7名	京セラ	4名	愛知製鋼	3名
	トヨタ紡織	4名	清水建設	2名	中部電力	15名	東邦ガス	7名	大成建設	4名	エヌ・ティ・ティ・データ東海	3名
	ニッセイ	4名	住友電装	2名	三菱電機	13名	日本特殊陶業	7名	大同特殊鋼	4名	サンディスク	3名
	アイシン・エイ・ダブリュ	3名	中部電力	2名	パナソニック	12名	オークマ	6名	デンソーテン	4名	JSR	3名
	アビームシステムズ	3名	デンソー	2名	トヨタ紡織	11名	東海旅客鉄道	6名	東芝メモリ	4名	JFE スチール	3名
	イビデン	3名	豊田合成	2名	三菱電機メカロニクス/フウエア	11名	豊田合成	6名	中日本高速道路	4名	セイコーエプソン	3名
	オービック	3名	西日本電信電話	2名	ブラザー工業	10名	日本製鉄	6名	リタケカンパニーリミテド	4名	東レ	3名
	鹿島建設	3名	三菱自動車工業	2名	東海理化電機製作所	9名	川崎重工業	5名	パナソニックエコシステムズ	4名	日本車輛製造	3名
	デンソーテクノ	3名	三菱電機メカロニクス/フウエア	2名	トヨタ車体	9名	島津製作所	5名	パロマ	4名	三菱重工業	3名
	トヨタシステムズ	3名	吉野石膏	2名	村田製作所	9名	トヨタシステムズ	5名	日立製作所	4名		
トヨタホーム	3名			マキタ	8名	日本ガイシ	5名	本田技研工業	4名			

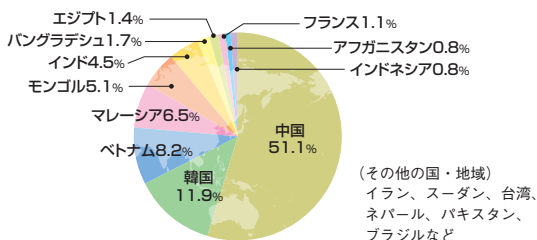
区分	学部（一部・二部）		大学院博士課程（前期・後期）	
官 公 庁	名古屋市	8名	神奈川芸術文化財団	1名
	愛知県	5名	静岡県	1名
	豊田市	4名	豊橋市	1名
	国土交通省中部地方整備局	3名	枚方市	1名
	一宮市	2名	福井県	1名
非 官 公 庁			愛知県	2名
			愛知ネット	2名
			滋賀県	1名
			東京都	1名
			大阪府	1名
		国土交通省	1名	
		産業技術総合研究所	1名	
		滋賀県	1名	
		東京都	1名	
		東京理科大学	1名	
		豊田市	1名	

注：同人数の就職先は五十音順とする。官公庁は、教育機関を除く。

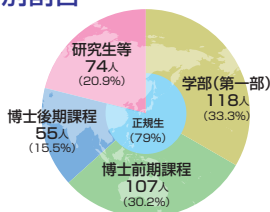
外国人留学生は354人 32の国と地域、60大学等と交流協定締結

■名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界29の国と地域からの354人です。うち91.8%に当たる325人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、181人を数えます。

◆留学生の国別割合



◆留学生の区分別割合



◆国際化推進事業

国際化推進事業は、本学の学生が、海外の企業、高等教育機関、研究所等で、国際インターンシップや教育・研究活動に従事し、広範な基礎的・革新的知見、特殊技能・技術、より高度な論文作成能力及び外国語による発表能力について研鑽を積むことを支援しています。

国際化の基盤作り強化と、国際的視野に富む有能な人材育成を推進するものです。

また、本事業は、一般社団法人名古屋工業会からの寄附金に基づき、実施しています。

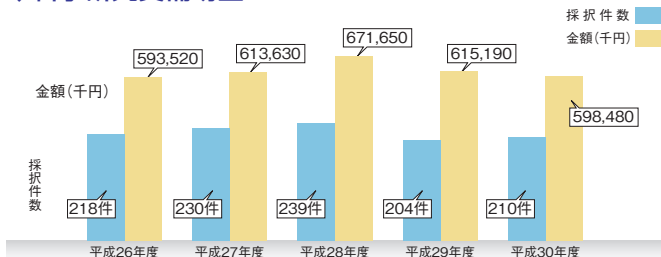
平成30年度

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
アメリカ	1	イタリア	1	フィンランド	1
カナダ	1	オランダ	2	ハンガリー	1
イギリス	1	オーストリア	2	中国	3
フランス	4	スイス	1	台湾	1
ドイツ	11	ポーランド	2	トルコ	2
スペイン	2	ポルトガル	1	マレーシア	2
				総派遣者数	39

採択件数210件 5億9,848万円

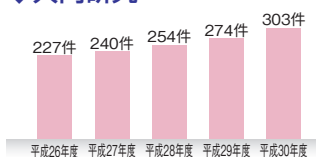
■科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

◆科学研究費補助金



多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

◆受託研究



「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

金額(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特許権等	17,014	12,888	13,486	8,791	54,354
著作権	661	236	157	0	596
ノウハウ	3,176	4,320	6,122	5,338	6,246
有体物	11,240	2,509	1,410	3,313	14,760
合計	32,091	19,953	21,175	17,442	75,956

11

プロジェクト研究所

■プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。

2019年（令和元年）5月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

研究所の名称	研究代表者（研究所長）
次世代耐震工学研究所	小畑 誠
コレクティブインテリジェンス研究所	伊藤 孝行
日本ガイシ マテリアルイノベーション研究所	森 秀樹
無焼成セラミックス研究所	藤 正督
表面反応化学研究所	白井 孝
接着・接合研究所	山下 啓司
国際音声言語技術研究所	徳田 恵一
ピアメカニクス 次世代モーションシステム研究所	岩崎 誠
建設材料研究所	白井 孝
生体電磁工学研究所	平田 晃正
ナノ材料・機能分子創製研究所	日原 岳彦
窒化ガリウムパワー半導体研究所	江川 孝志
次世代エンジニア育成研究所	産学官金連携機構長

注：設置順

12

図書館

蔵書数は約46万4千冊

◆蔵書総数

和書	258,316
洋書	206,360
合計	464,676

このほかに	
雑誌	5,623
電子ブック	20,675
電子ジャーナル	7,455

◆学外利用者数

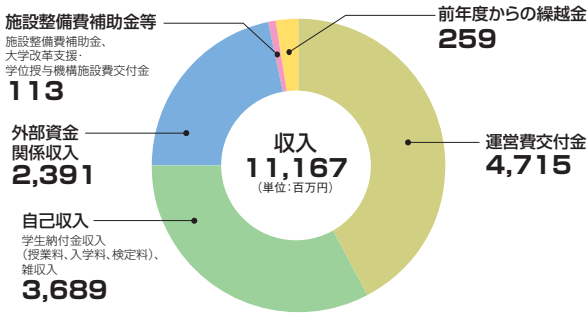
平成30年度 3,196人

■名古屋工業大学図書館の蔵書は、和書約25万8千冊、洋書20万6千冊、合わせて約46万4千冊にのぼっています。

■市民への開放も積極的に実施しています。

■「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧ください。

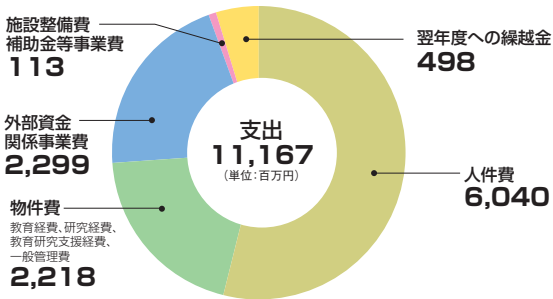
平成30年度財政状況 (百万円未満四捨五入)



注1：単位未満の四捨五入により合計額が一致しない場合がある。

注2：外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注3：前年度からの繰越金については、平成30年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

(単位：百万円)

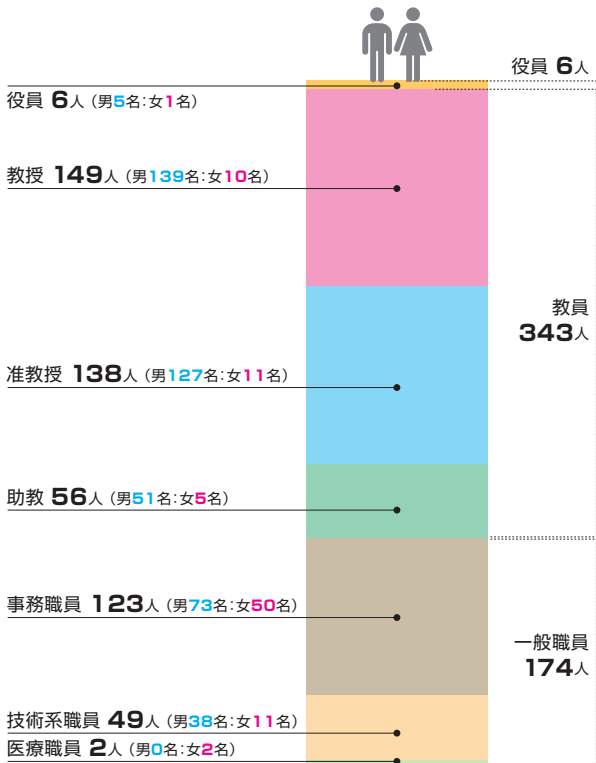
区 分	件 数	決 算 額
寄 附 金	632	319
受 託 研 究 費	105	936
共 同 研 究 費	303	775
受 託 事 業 費	16	133
共 同 研 究 助 成 事 業 助 成 金	1	1
科 学 技 術 人 材 育 成 費 補 助 金	1	19
科 学 技 術 人 材 育 成 費 補 助 金 (卓 越 研 究 員 事 業)	1	2
研 究 拠 点 形 成 費 等 補 助 金	1	20
国 立 大 学 法 人 機 能 強 化 推 進 補 助 金	1	30
住 宅 市 場 整 備 推 進 等 事 業 費 補 助 金	1	3
中 小 企 業 経 営 支 援 等 対 策 費 補 助 金	6	14
間 接 経 費 (科 学 研 究 費 補 助 金 等)	290	140
計	1,358	2,391

注1：単位未満の四捨五入により合計額が一致しない場合がある。

注2：件数及び決算額については、平成30年度決算資料に基づく。

523人のスタッフが大学を支えています

- 大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は523人です。そのうち、スタッフ（専任のみ）の65.6%が教員です。
- 教員のうち26人（7.6%）、一般職員のうち63人（36.2%）が女性で、全体の17.2%を占めています。



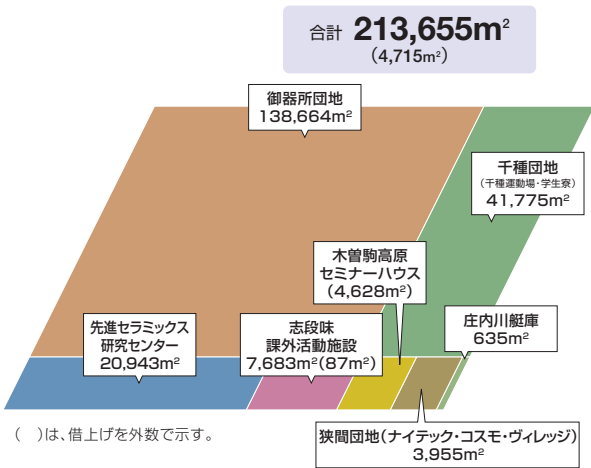
注：職員数（本務者）とは、特定有期雇用職員・再雇用職員・参事を除く、常勤職員数を示す。

15

キャンパス面積

総面積は約21.3万 m²

- 名古屋工業大学の総面積は約21.3万 m²です。それ以外に4,715m²を借上げています。
- 敷地は、御器所団地（昭和区）と千種団地（千種区）に分かれており、庄内川艇庫（中川区）、志段味課外活動施設（守山区）などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。

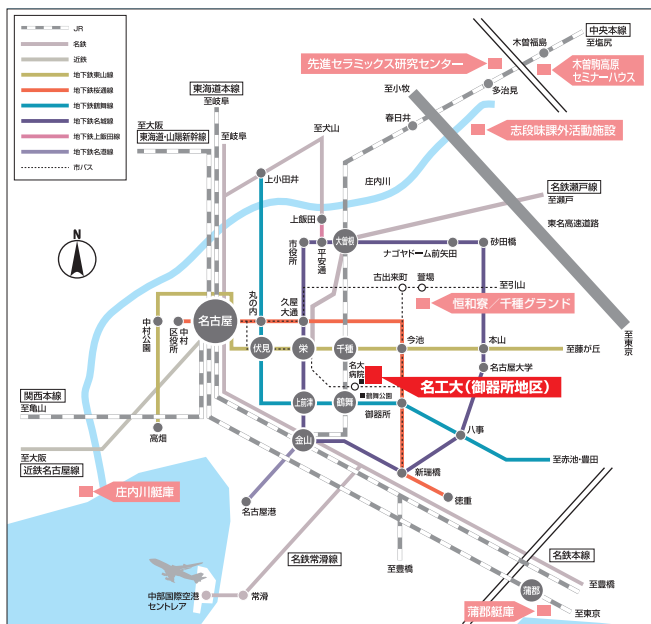


◆キャンパスマップ



アクセス

◆位置図



(注1) 平成30年度までは和暦で、2019年(令和元年)度からは西暦(和暦)で表記しています。

(注2) 年度表記について、2019年(平成31年)4月は、便宜上2019年(令和元年)度として記載しています。

(注3) 名称及び数字については、特に注記したものを除き、2019年(令和元年)5月1日現在で記載しています。

国立大学法人

名古屋工業大学 DATA BOOK

2019年(令和元年)9月発行

発行 | 名古屋工業大学

所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL | 052-735-5000

URL | <https://www.nitech.ac.jp>

編集 | 名古屋工業大学企画広報課